



Sport Intelligence Conference in SENDAI

スポーツ情報カンファレンス in 仙台大学

「スポーツ・教育 × 情報」が持つ可能性

近年、パフォーマンス向上には「情報（数値・映像）」も必要不可欠な要素となっています。本シンポジウムでは、スポーツ・教育現場の情報に関する最新動向を提供するとともに、競技スポーツや教育現場に携わる指導者、選手、先生方とこれからの可能性について検討したいと考えております！

日時：2017年12月16日（土）12時30分 – 16時30分（参加費無料）

会場：仙台大学（宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号）

主催：仙台大学、株式会社ダートフィッシュ・ジャパン

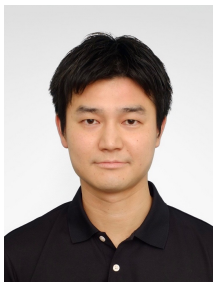


Time Table

12:30 –	Opening		仙台大学 LC棟
12:40 – 13:40	Session1 基調講演	池袋晴彦氏（リオオリンピック卓球日本代表アナリスト） 卓球における分析事例	仙台大学 LC棟
13:50 – 14:50	Session2 講演	石丸出穂（仙台大学准教授・男子バレーボール部監督） 大学スポーツ現場での分析活動 –男子バレーボール部の例から–	仙台大学 LC棟
15:00 – 15:30	Session3 パネル ディスカッション	池袋晴彦、石丸出穂、明成高等学校教諭・在校生 高大連携教育の取り組みと今後の展望	仙台大学 LC棟
15:45 – 16:25	Session4 デモン ストレーション	株式会社ダートフィッシュ・ジャパン ダートフィッシュソフトウェア デモンストレーション	仙台大学 第5体育館
16:25 – 16:30	Closing		仙台大学 第5体育館

※内容および使用教室(体育館)は、一部変更になる可能性がございます

池袋晴彦 (Haruhiko IKEBUKURO)



2006年筑波大学体育専門学群卒業、2014年筑波大学大学院人間総合科学研究科健康スポーツマネジメント専攻修了。小学校6年より卓球を始め、大学卒業まで競技経験がある。大学卒業後、京都市立の中学校に保健体育科の教員として勤務。卓球部の顧問でもあった。

2013年9月から2017年3月まで、日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスサポート（旧マルチサポート）事業パフォーマンス分析のスタッフとして、卓球日本代表チームに向けた映像分析サポートを担当。2017年9月より、フリーのスポーツアナリストとして日本ペイントホールディングス女子卓球部や愛知工業大学男子卓球部をサポートしている。

参加お申し込み
お問い合わせ先



参加お申し込み・お問い合わせにつきましては、運営事務局（担当：溝上）まで
お願いいたします。 Email : hr-mizokami@sendai-u.ac.jp